

WHO ファクトシート

ヒ素

Arsenic

2016年6月

重要な事実

- ・ヒ素は、多くの国の地下水に高レベルで自然に存在している。
- ・ヒ素は、無機形態で高い毒性がある。
- ・汚染された水が飲料や食事の準備や食用農作物の灌漑に使用されると、ヒ素による公衆衛生上の最大の脅威となる。
- ・飲料水や食事からのヒ素の長期にわたる摂取は、がんや皮膚病変の原因となりうる。また、心血管疾患、神経疾患、糖尿病の発症にも関連している。
- ・汚染されたコミュニティに対し最も効果的な対応策は、安全な水の供給を行うことによって更なるヒ素曝露を防ぐことである。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Arsenic ファクトシート原文は [こちら](#)